

平成22年2月12日

各位

上場会社名 大同メタル工業株式会社
 代表者 代表取締役会長兼最高経営責任者 判治 誠吾
 (コード番号 7245)
 問合せ先責任者 上席執行役員総務センターチーフ 玉谷 昌明
 (TEL 052-205-1401)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,000	△1,650	△2,800	△3,350	△84.06
今回発表予想(B)	50,600	△1,100	△2,100	△3,800	△95.35
増減額(B-A)	2,600	550	700	△450	
増減率(%)	5.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	60,572	△380	△1,963	△4,764	△109.23

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,500	△350	△950	△3,000	△75.28
今回発表予想(B)	41,000	300	△200	△3,100	△77.79
増減額(B-A)	3,500	650	750	△100	
増減率(%)	9.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	52,268	1,845	1,682	△4,182	△95.88

修正の理由

1. 2009年11月13日の第2四半期決算発表時に通期業績予想の修正を行いました。その修正後の数値に対しまして、現時点の最新の情報に基づいて、改めて修正を行うものであります。

2. 連結及び単体の通期業績予想の修正の主な理由は、次のとおりであります。

(1) 売上高は、第3四半期に入って以降、国内及び海外ともに主に乗用車及びその自動車部品関係の需要回復が予想以上であり、それに新規受注も加わり受注量は順調な伸びを示しております。また、トラック、建設機械も輸出を中心に若干の回復の兆しが見え始めたことで、造船分野の低迷をカバーしての売上増を見込んでおります。

(2) 利益面につきましては、リーマンショック以降の未曾有の大不況を乗り切るとともに、2011年(平成23年)3月期での完全黒字転換を目指して、「生産性の改善」、「拠点の集約」、「設備効率の向上による設備投資の圧縮」、「物流の効率化」、「経費の見直し」などにより、厳しい売上状況下で徹底したコスト削減に努め、利益の出る経営体質への変革を柱とした「サバイバル・プラン」の実行を大同グループ一丸となり推進しております。その結果、従来の増収効果を大きく上回るサバイバル・プランの成果が現れ始めており、連結及び単体の営業損益及び経常損益において増益が見込まれます。

(3) なお、単体当期純損益は、清算予定子会社の貸倒引当金516百万円及び上半期の厳しい販売不振の影響からの関係会社株式評価損500百万円などを特別損失に計上及び計上予定したことから、減益予想となっております。これらの特別損失は連結業績に影響いたしません。

連結当期純損益は、清算予定子会社の固定資産減損302百万円及び従業員持株信託の債務保証200百万円などを特別損失に計上及び計上予定したことから、減益予想となっております。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報による判断に基づき作成したものであり、実際の業績はこれらの予想と異なる場合がありますことをご承知置き願います。

以上